

第13回市民スポレク祭ふらばーるボールバレー競技の部 実施要項

1. 主 催 あわら市教育委員会
2. 主 管 あわら市スポーツ協会
3. 後 援 福井新聞社
4. 期 日 令和8年10月25日（日）
5. 日 程 受 付 午前8時45分
競技開始 午前9時30分～
6. 会 場 農業者トレーニングセンターアリーナ
7. 参加資格 中学生以上の市内在住者、市内在勤者とする。
8. チーム編成 (1) 支部又はブロック対抗。（他の支部・ブロックと合同参加可とする）
(2) オープン参加（支部以外のチーム）
(3) 登録は監督1名、選手5～8名以内。（監督は選手を兼ねることができる）
9. 競技部門 混合の部（男女の制限はない）
10. 競技方法 試合は予選リーグ戦を行い、各リーグ1位・2位チームによる決勝トーナメント戦で実施する。（但し、3位決定戦は行わない）
11. 競技規則 (1) 別添大会競技規則による。
(2) ネットの高さは、2m00cmとする。
12. 申込規定 (1) 期 限 10月13日（火） 午後5時
(2) 申込先 あわら市教育委員会 スポーツ課内
あわら市スポーツ協会事務局
TEL 73-8043 FAX 73-1350
E-mail sports@city.awara.lg.jp
13. 表 彰 第3位まで表彰する。
14. 抽 選 会 (1) 日 時 10月20日（火）午後7時30分
(2) 会 場 あわら市役所 1階101会議室
(3) 出席者 各チーム代表者
抽選会では要項の確認も行いますので、代表者が出席できない場合は代理が出席するようにお願いします。ただし、どなたも出席できない場合は、事務局が代理で抽選しますのであらかじめご了承ください。抽選結果はホームページ、スポーツ課インスタグラムに掲載します。
15. そ の 他 (1) 各チームはラインズマン・得点係として3名の協力をする事。
(2) 支部・オープン参加とも同じリーグで対戦。成績上位のチーム（オープン参加を含む）が決勝トーナメントへ進出する。今後、オープン参加が増加した場合は、リーグを分けることを検討。
(3) 総合得点制の点数配分は、支部のみの順位で配点する。
(4) 競技の様子を撮影させていただき、今後SNS等に掲載させていただきます。掲載希望しない場合は、事務局までご連絡いただくようお願いいたします。

申込二次元コード



第13回市民スポレク祭ふらばーるボールバレー競技の部 競技規則

- 1 コート内での1チームの競技者は5名。選手はローテーションを行い、サーブ後はフリーポジションで行う。ラリーポイントは15点制（14オールの場合2点差または17点打ち切り）で、予選リーグは2セットマッチで行う。決勝トーナメントにおいては3セットマッチとし、2セット先取で勝利とする。1セット目のコート権とサーブ権はじゃんけんにより決定し、2セット目のサーブ権は1セット目のサーブを行った相手のチームが行う。3セット目は、じゃんけんでコート権とサーブ権を決め、8点先取でコートチェンジとする。
決勝トーナメント進出チームは、予選リーグの勝ち点によりを決定する。勝ち点の点数配分は勝ちが2点、引き分けが1点、負けが0点とする。勝ち点が同点の場合は①セット率、②得失点差、③総得点差の順により決定する。更に同点の場合は、抽選により決定する。
- 2 サーブはコート内、サービスラインからアンダーハンドで打つ。サーブミスした場合は、サーブ権が相手側に移る。
- 3 レシーブはサーブされたボールが床にワンバウンドした後、ノーバウンドで3回以内に返す。このとき、同じ競技者が続けてボールに触れてはいけない。また、相手コートから返ったボールも同じようにワンバウンドしてからレシーブを行う。腰から下（脚）でのレシーブは禁止。
- 4 ワンバウンド、またはレシーブしたボールがネットに触れた場合は、床に落ちるまで再度打てる。ただし、同じ競技者が触れることはできない。
- 5 レシーブ後の3回目にネットに触れて自分のコートに返ってきた場合のみ、あと1回だけプレーが許され、4回目での返球が認められる。このときだけ、同じ競技者が続けて触れてよい。
- 6 ラリーポイント制で試合を行う。
- 7 ジャンプしてのスパイクは禁止とする。（※両足が地面から離れた時点でジャンプとみなす）
- 8 相手チームから自分のチームへサーブ権が移った時に時計回りにローテーションを行う。
- 9 タッチネット、オーバーネット、ドリブル、ホールディング等は9人制バレーボール規則に準ずる。
- 10 1セットにつき3回まで選手交代を認める。
- 11 1セットにつき1回（30秒以内）のタイムアウトをとることができる。
- 12 マーカーの設置はなし。マーカー外の通過は審判の判断に委ねることとする。
- 13 ボールのイン・アウト判定について、ライン上にボールが触れていればイン。主審・線審に判断の委ねることとする。